

(7) 水道事業会計決算の状況

ア 総括事項

平成30年度の水道事業は、平成22年度に策定した流山市水道事業基本計画（平成23年度～平成32年度）（以下「基本計画」という。）における「市民への安全な水の安定供給をめざして」を基本方針とし、流山市水道事業に係る認可（以下「第6次拡張変更認可」という。）及び平成27年度に策定した流山市水道事業経営戦略（平成28年度～平成39年度）に基づいて事業を実施した。

収入面において、給水収益については本市の人口増加に伴い、給水区域内人口が2.43パーセント増加し、年間有収水量が2.3パーセント伸びたことにより、平成29年度に比べ1.94パーセント（55,992,248円）の増となった。

また、給水申込納付金についても、平成29年度に比べ5.44パーセント（37,860,000円）の増となったことから、損益では1,012,949,512円の利益となった。

一方、水道事業を取り巻く環境として、給水人口の伸び率3.24パーセントに対し、年間有収水量の伸び率は2.3パーセントに留まっていることから、一人あたりの給水量は依然として減少傾向となっている。

運営面において、上下水道局庁舎環境衛生管理業務等及び清掃業務委託、浄水場の運転管理業務及び維持管理等業務委託、給水装置関連及び漏水修理等業務委託、浄水場及び水道局庁舎警備委託について継続して民間に委託し、水道利用者の利便性の向上と効率的な運営に努めた。

また、上下水道局単独で、平成30年10月21日に広報紙を発行し、水道事業のPR活動を行った。

イ 建設事業

基本計画及び第6次拡張変更認可に基づき、既設浄水場の自己水源の改修を実施したほか、配水管の改良、拡張工事を実施した。

既設浄水場の自己水源の改修については、おおたかの森浄水場

1号井戸及び江戸川台浄水場3号井戸の清掃業務委託を実施した。

一方、配水施設整備事業は、給水区域の安定した給水と一定の水圧を確保するため、配水管の口径変更と塩化ビニル管等を地震に強いダグタイル鑄鉄管や水道配水用ポリエチレン管に改良する配水管改良工事9件、延長2,104.7メートル、越谷流山線バイパス道路整備に伴う配水管移設工事1件、延長464.6メートル、舗装本復旧工事5件、面積7,256.1平方メートルを実施した。

また未給水区域の解消を図るため、配水管拡張工事3件、延長1632.2メートルを実施した。

さらに、つくばエクスプレス沿線整備事業に係る配水管拡張工事として、木地区、運動公園周辺地区、新市街地地区、鱈ヶ崎・思井地区において、繰越12件を含む拡張工事14件、延長11,124.6メートルを実施し、安心安全な水の安定供給追及を図った。

ウ 業務の状況

平成30年度末の給水人口は189,943人で、平成29年度に比べ5,955人増加し、給水普及率は99.56パーセントとなった。

年間有収水量は17,271,280立方メートルとなり、平成29年度に比べ389,087立方メートルの増となった。

また、水道料金等の不納欠損金処理は212件、853,946円で、平成29年度に比べ件数では53件の減、金額では52,495円の増となった。

このほか、給水申込納付金の調定状況は、件数では58件増の2,837件、金額では17,625,600円増の769,057,200円、臨時給水については、件数では113件減の820件、金額では8,614,877円減の20,406,242円となった。

エ 経理の状況

収益的収入は4,404,645,616円（税込）で平成29年度に比べ3,791,979円の増収となった。この主な要因は、

給水収益の増加や、給水申込納付金の増加によるものである。

一方、収益的支出は3,305,106,742円(税込)で、平成29年度と比べ106,350,666円の増加となった。この主な要因として、流山市水道事業変更届出書作成業務委託や漏水調査業務委託など委託料の増加や、固定資産除却費の増加等によるものである。

このような状況の中、平成30年度の損益は、税抜による収益的収入が4,104,800,298円、収益的支出が3,091,850,786円で、収入から支出を差し引くと、1,012,949,512円の純利益を計上することができた。

資本的収入は463,298,715円(税込)で平成29年度に比べ158,703,397円の増加となった。その主な要因は、つくばエクスプレス沿線整備工事負担金の増加によるもので、資本的支出のつくばエクスプレス沿線整備事業費に充てるため、沿線区画整理事業者との負担協定に基づき収入したものである。

一方、資本的支出は2,166,983,965円(税込)で、平成29年度に比べ113,782,074円の減額となった。

その主な要因は、既成市街地及びつくばエクスプレス沿線地域における拡張工事が大幅に減額したものである。なお拡張事業費については、平成29年度に比べ44,913,219円の増額、つくばエクスプレス沿線整備事業費は同じく158,853,352円の増額となっている。

オ 議会議決事項

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
議案第71号	平成30年度流山市水道事業会計補正予算(第1号)	H30.8.30	H30.10.2
議案第73号	平成29年度流山市水道事業会計決算認定について	H30.8.30	H30.10.2
議案第78号	損害賠償の額の決定について	H30.9.7	H30.10.2

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
議案第102号	平成30年度流山市水道事業会計補正予算(第2号)	H30.11.29	H30.12.19
議案第19号	平成31年度流山市水道事業会計予算	H31. 2.14	H31. 3.15
議案第20号	平成30年度流山市水道事業会計補正予算(第3号)	H31. 2.14	H31. 3.15
議案第24号	流山市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	H31. 2.14	H31. 3.15

カ 職員に関する事項(上下水道事業管理者及び再任用職員を除く)

職種	平成31年3月31日 現在の職員数(人)	平成30年3月31日 現在の職員数(人)	増減 (人)
事務職員	12	11	1
技術職員	6	6	0
合計	18	17	1